土岐市庁舎 TOTO

# 外観



土岐の街に馴染む低層3階建ての伸びやかな庁舎は、背後の山並みの稜線 をさえぎらないよう、山に抱かれた風景を作り出す。

# 内観

市民の目に触れる場所には、土や木などの自然素材を中心にしつらえてい る。自然素材がもつ色幅やバラつきが、温かみのある空間を演出している。



市民ゾーンに位置する東側トイレは、大きな窓に面した明るく清潔感のあるし つらえ。ゆとりをもって作られた通路やブース内の仕上げには、多様な地場産 タイルが使われており、土岐市らしい空間となっている。

1F こどもトイレ

授乳室に隣接するこどもトイレは、休日開庁の際にも利用可能な市民ゾーンに 配置。ベビーカーも入室できるゆとりのある空間には、幼児用大便器・小便器 のほか、高さ違いの洗面器を設置している。

### 北側階段横通路



北側カーテンウォールの背面には、1Fから3Fまで、光触媒機能のある大型陶 板ハイドロソリッドを採用。内装の雰囲気に合った趣のあるカラーは、土岐市 庁舎オリジナルの特殊色。

### 1F 西側トイレ 入口



離れた場所からでも見やすく、落ち着いたカラーで入口を案内するトイレサイ ン。廊下側からも分かりやすいよう、扉上部に突出しの木製ピクトサインで誘 導している。

### 2F 西側男性トイレ 洗面・小便器コーナー



と同様、地場タイルで仕上げられており、落ち着いた雰囲気を演出している。

# 2F 多目的室



職員が食事をとることができる多目的室は、歯磨きや身だしなみを整えるスタ イリングコーナーを設置。市民との対面サービスなどにおける身だしなみの配 慮の一環として、男女それぞれ個別に設けている。

### **1F 西側男性トイレ 洗面コーナー**



デザイン性と床面の清掃性を兼ね揃えたフローティングタイプの洗面コー ナー。カウンター部分は、ベッセルタイプの洗面器のデザイン性を活かすよう キューブ形状となっている。

# | | 1F | 西側多目的トイレ



子育て支援課の横に位置する多目的トイレは、幼児用大便器や幼児用小便 器、ベビーチェア、ベビーシート、フィッティングボードを完備。お子様連れも快 適に使用できるように配慮。

### 建築概要

称 土岐市庁舎

地 岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101

主 土岐市

株式会社東畑建築事務所

工 岐建・舘林特定建設工事共同企業体 大島·奥村特定建設工事共同企業体 シブヤ・美濃冷暖特定建設工事共同企業体

**開庁年月** 2019年3月

### 水まわりの特長

美濃焼の産地であり、陶磁器生産量日本一の土岐市は、市内の中心部を 土岐川が流れ、緑豊かな丘陵地や、切妻の甍屋根の町並みなど、のどか で伸びやかな風景が広がっている。新庁舎は、甍の大屋根や、水平に伸び る低層階など、その環境に溶け込む外観となっている。設計にあたり、市民 のニーズを把握するため、市民ワークショップを開催。市民の想う庁舎像の 具現化を目指した。建設にあたっては、地域にゆかりのある材料や企業を 積極的に活用し、地域に根ざした庁舎を目指した。隣接する文化プラザと は、新庁舎と回廊・渡り廊下で結び、一体利用できるようにし、市民の交流 の場、活動の場となる庁舎となった。

### <トイレの特長>

多様な利用者を想定し、各トイレはゆとりある空間をしっかりと確保。内装 のしつらえは、各フロアの利用者特性を加味し、仕様の異なる空間となって いる。多目的トイレは、収納式多目的シート、オストメイト対応、乳幼児連れ 対応など、場所ごとに異なる設備を配置し、機能分散させることで効率的に 利用ができるよう配慮されている。トイレ内で採用した衛生陶器や材料も地 元産にこだわり、土岐市ならではのトイレ空間を実現した。